



修文錬磨

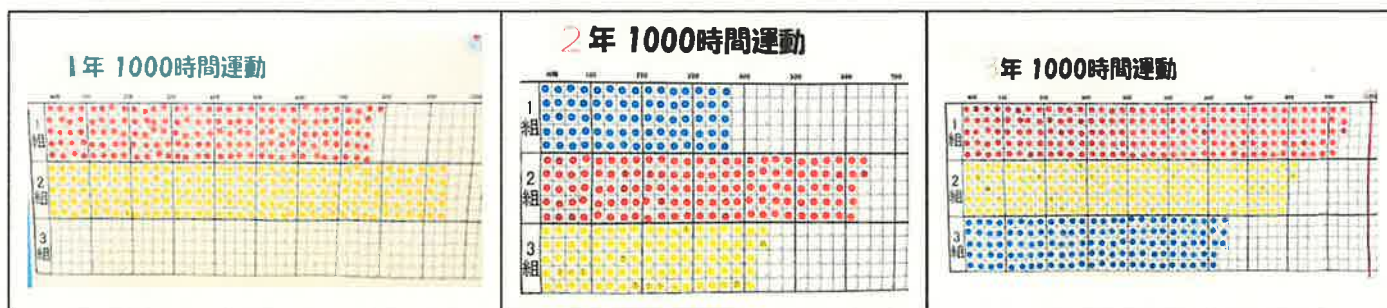
～学び、鍛え、磨く～

令和8年6月24日
第10号
八幡平市立西根中学校
(文責：高橋 茂)

1学期期末テスト ～全校で学力向上～

6月22日(月)23日(火)1学期期末テストを行いました。地区中総体に向けての部活動延長期間と並行してのテスト取組となりました。地区中総体後2日間の振替休日をはさんで、先週は部活動がありませんでしたが、計画通り学習を進めることはできたでしょうか。

家庭学習時間の増加を目指し、学習委員会は「1000時間運動」を行いました。各学年の様子は次の通りです。



初めての定期テスト取組
計画～実行～評価～改善
大事なサイクルです。

取組結果だけを見ると、不完
全燃焼の様子がうかがえます。
更なる頑張りに期待です。

文武両道を目指し、自分に
厳しく取り組んだ様子が感じ
られます。

また、2学年の廊下には『2学年委員のMy勉強法』など、学年独自の楽しい取り組みがありました。学習方法を共有し合い、自分に合った学習方法を見つけることも大事。全校で学習に向かう姿勢をさらに高めていきたいです。

『2学年委員のMy勉強法』より

- ・授業に全集中…おすすめ
- ・毎日こつこつ…絶対身に付く、僕にはできない。
- ・徹夜…全て忘れる、しんどい、眠い
- ・やりたい時にやる…ほぼ確実に身に付く、一生やりたくないこともあるから注意
- ・休憩の時、ぼーっとしたり無駄に歩いたりする…なぜかその後、集中できる。
- ・休憩の時、動画などをみる…休憩に時間を使いすぎてしまう。
- ・つながりや理屈、なぜそうなるか理解する…覚えたり、解きやすくなる。



学校全体が静寂と緊張感に包まれた環境でテストに向かうという経験は、大事な機会の一つだと考えます。



1年2組国語



2年3組理科



3年2組数学

1学期末テスト問題抜粋（1年生）

4 次の(1)~(5)の問いに答えなさい。



- (1) 上の国旗は、左からクック諸島、フィジー、オーストラリアの国旗である。この国旗には、ユニオンジャックと呼ばれる国旗が含まれている。ユニオンジャックはこの国の国旗であるか、**国名**を書きなさい。(2点)
- (2) 現在、上の国の国旗でユニオンジャックが使われている理由を歴史的背景と関連づけて、簡単に説明しなさい。(3点)
- (3) 1945年に世界の平和をめざして、発足した組織を何というか。ことばで書きなさい。(2点)

18 さいころを投げて、奇数の目が出たら-1点、偶数の目が出たら+2点もらえるものとする。このとき、次の問題に答えなさい。(3点×2)

- ① 3回さいころを投げたら得点が0点であった。
このとき、奇数の目の出た回数を求めなさい。



- ② 6回さいころを投げたら得点が-3点であった。
このとき、奇数の目の出た回数を求めなさい。

中学生は心身ともに成長する大事な時期です

歯を守ることは 全身を守ること!?

歯が弱ると歯肉(アブラ)が赤く腫れやすくなる

歯肉は、歯ぐきから広がり、全身を包みこむ

脳:認知症
歯周病で歯肉が腫れて歯が動揺すると、歯の根が揺らぐと、脳に悪影響を及ぼす

**脳:脳梗塞
心臓:狭心症・心筋梗塞**
歯周病で歯肉が腫れて歯が動揺すると、歯の根が揺らぐと、脳に悪影響を及ぼす

肺:肺炎
歯周病で歯肉が腫れて歯が動揺すると、歯の根が揺らぐと、肺に悪影響を及ぼす

胃:胃腸炎
歯周病で歯肉が腫れて歯が動揺すると、歯の根が揺らぐと、胃に悪影響を及ぼす

腎:腎臓病
歯周病で歯肉が腫れて歯が動揺すると、歯の根が揺らぐと、腎臓に悪影響を及ぼす

骨:骨粗しょう症
歯周病で歯肉が腫れて歯が動揺すると、歯の根が揺らぐと、骨に悪影響を及ぼす

歯周病は予防できる病気です

保健室前には、『心身の健康』に関する情報コーナーがあります。養護教諭が、毎月内容を変え、工夫を凝らした掲示を行っています。今月のテーマは「歯の健康」。歯は一生の友達。昼食後の歯磨き習慣を身につけられるよう、今後も呼びかけていきます。

また、「ゲーム障害・依存症」についての特集も掲示してあります。ゲーム機器やスマホがないと不安になる。取り上げられると激しく怒る。睡眠時間を削るなど日常生活がゲーム・スマホ中心になる。など、依存症が進むと、医療の手を借りないと克服できない状態にまでなってしまいます。依存症は生活に支障をきたす脳の病気です。

<解答>

社会

- (1) イギリス
- (2) (例) かつて、イギリスに植民地支配をされていたから。
- (3) 国際連合

数学

- ① 2回
- ② 5回

文章問題では、まず「何を問われているのか」を捉える必要があります。そのためには『読解力』が必要です。そして、読解力の基盤となるのが語彙力です。

読解力は国語だけでなく、あらゆる教科において大切ですし、日常生活においても読解力が求められる場面は多岐にわたります。ネットメディア、商品説明書、仕様書、手順書、マンションや保険の契約書、確定申告書など、読んで理解した上で対応しなければならない場面はたくさんあります。もちろん、仕事でも、文書で指示を出されることが必ずあります。

新聞で一年間に使用される言葉が約30,000語、頻出するのが15,000語なので、中学生くらいから新聞を読むことができるとされています。AIがすごい勢いで能力を伸ばしている現代だからこそ、読解力がますます重要となります。

読解力を身につけるためにも、「教科書音読+教科書のまとめ」の学習に取り組むことをおすすめします。

- ① その日、学習した教科書のページを音読する。(見開き2ページぐらいのことが多い)
- ② そのページで大切なことをノートにまとめる。

- ・教科書には「学習課題」「確認」「表現」等の記載もあり、見通しを持ちながら学習を進められるよう工夫されている。
- ・教科書の内容を基に自分の言葉でまとめる。

例) 社会 武士の登場 (歴史 P62, 63)

力を付けた農民が武装したことで力を付けはじめた。朝廷が、そういう人々を利用したことで武士が形成されていった。武士の中には各地で反乱を起こすものも出てきた。反乱を収めた武士たちは、役人になるなどさらに力をつけるようになった。

- ・前の時間に学習したことなどと関連付けながら表現できるようになると、力がさらについてきている証拠です。

時間に余裕がある時、もっと学習したい時は、次回学習予定のページを音読し、読めない箇所に印をつけたり、授業がどのように展開していくのか予想したりしておくことで定着率が違ってきます。

『2学年委員のMy勉強法』にも、「授業に全集中…おすすめ」や「つながりや理屈、なぜそうなるか理解する…覚えたり、解きやすくなる」という意見がありました。教科書には大切なことがまとめられています。教科書をしっかり“読める”ようになることが、読解力の向上に直結します。授業、教科書を有効活用してほしいです。

また、ご家族と一緒に新聞や本を読んだり、読んだ後、様々な話題について話し合ったりすることも、読解力・語彙力を伸ばすのに大変おすすめです。